

域内横断的な取組

北海道

青森県

岩手県

宮城県

秋田県

山形県

福島県

【北海道高等学校DX加速化推進に向けた域内横断的な取組事業】

【現 状】○全道の高校生の探究活動において、データサイエンスを活用した分析・検証が十分に行われていない。
○各教科・科目等におけるデータサイエンスを活用した指導の在り方について教員が十分に理解していない。

教員の指導力の向上

① データサイエンスを活用して探究活動の質を向上させるための教員研修

【対 象】採択校の教員の他、教科「情報」及び総合的な探究の時間を担当している道立高等学校の教員等

【目 的】
生徒の情報活用能力の育成に向け、データサイエンスの活用に係る教員研修を開催し、教員の指導力向上に資する。

【内 容】
1 大学講師等によるデータサイエンス講座
テーマ：「生徒の探究活動で生かすデータサイエンスとは」
※③の協議会において実施（年2回）
2 授業等研究セミナー（全道2回開催・ハイブリッド開催）
テーマ：「①生成AIの活用、②データサイエンスの活用」
※「1、2」ともに、道教委「BRIDGE構築事業」と連携して実施

【その他】
各校においては、データサイエンスを活用した探究活動を推進するために、生成AIやデジタルリテラシー等に関する教員向け研修を実施する。

生徒の情報活用能力の育成

② データサイエンスを活用して探究活動を充実させるための生徒研修

【対 象】道立高等学校、道立中等教育学校の生徒

【目 的】
生徒の探究活動の充実に向け、データサイエンスの活用に特化した研修を実施し、統計・データサイエンス力など情報活用能力を育成する。

【内 容】

- 1 大学講師等によるオンライン研修会の実施
全3回のパッケージ研修とする。
①データサイエンス（入門編）
②プログラミング学習（実践含む）
③データサイエンス（応用編）

- 2 研修で身に付けた資質・能力を探究活動成果発表会（※）で生かす。
→ 収集した情報の「整理・分析」にデータサイエンスを活用
※全道立高等学校が参加する探究活動の成果発表会（道教委「BRIDGE構築事業」の一環）

探究活動の一層の充実

全道的な拡大・成果普及

③ デジタル人材の育成に向けて、取組の共有・成果普及

【対 象】採択校の教員の他、教科「情報」及び総合的な探究の時間を担当している道立高等学校の教員等

【目 的】
全道的なデジタル人材の育成に向けて、高等学校DX加速化推進事業採択校の取組の成果を共有する機会を設けるとともに、研究協議を通じて、データサイエンスを活用した探究活動の充実・質向上を図る。

【内 容】
○ 北海道高等学校DX加速化推進事業研究協議会の実施
1 年2回参集で実施
2 好事例の共有及び採択校による成果発表
3 大学講師等による採択校への助言
4 ①と連動して実施

【その他】
採択校においては取組事例を作成し、全道に成果普及を図る。

青 森 県

発展的探究活動を通したデジタル人材育成実践事業

取組内容① (実施要領 2. (1) (4) 関連)

県立高校における授業や探究活動での、生徒の生成AI活用及び教員の授業デザインに係る生成AI活用について、研修会を通じて教員の指導力や専門性の向上を図る。

県立高校で行われている様々な課題研究等の成果発表を行うことにより、生徒自身の研究に対する興味・関心を一層喚起するとともに、地域課題解決につながる新たなアイデアの創出を図る。

設備活用による取組の発展・充実

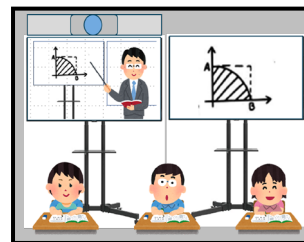
取組内容② (実施要領 2. (6) 関連)

デジタル等成長分野の人材育成のため、理工系学部・学科への進学に向けて、理数系科目の履修を促進するため、遠隔授業を実施し、教育内容の充実を図る。

対象：域内の県立高校

受信校に対して、遠隔授業に必要な機器としてオンライン会議デバイスを設置した環境を整備する。

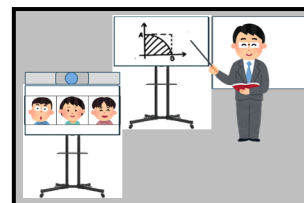
配備するデバイスについては、スイッチ一つですぐに起動できるなど、教員及び生徒が必要な時に簡便に使えるよう、操作性、さらには配線の際の安全性についても配慮・工夫を施す。



取組内容③ (実施要領 2. (6) 関連)

県総合学校教育センターに遠隔授業のための配信センターを整備する。

域内の県立高校に対して、「教科・科目充実型」の遠隔授業を実施し、理数系科目の学習機会及び教育内容の充実を図る。

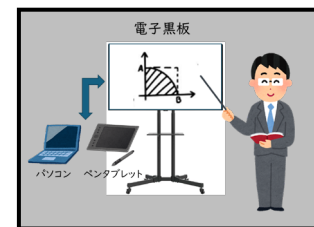


デジタル等成長分野の
人材育成のため理工系学部・
学科への進学者の増

取組内容④ (実施要領 2. (6) 関連)

配信センターの設備を活用し、遠隔授業の特性を把握した上で効果的な授業実践や学習評価に繋がるよう、教員研修を実施し、遠隔授業の質の向上を図る。

オンライン会議システムやペンタブレットなどの特性や長所を授業に活かすための工夫等について、企業等の知見を活用し、遠隔授業を担当する教員の授業実践力強化を図る。



協力・助言

「デジタル技術を活用した探究活動」についての 教員研修会（実施要領2.（1）関連）

- ・ 域内の「探究活動」担当者、及び教科「情報」担当者対象
- ・ 地域企業の専門人材を交えた課題解決に向けた研修会を実施
- ・ 域内の学校間での課題の共有、大学教員等の専門人材を交えた課題解決に向けた協議を実施



域内の デジタル人材育成

域内の希望する高校生等を対象としたデジタル人 材育成講座（実施要領2.（3）関連）

- ・ 域内の希望する生徒対象
- ・ 生徒の興味関心を引き出す実践型のデジタル人材育成講座の実施
- ・ 視野拡大をはかるとともに、高度な内容の修得を目指す
- ・ 学習した内容を探究活動で活用

採択校の取組状況の進捗把握・指導助言 （実施要領2.（2）関連）

- ・ 域内DXハイスクール採択校の教職員対象
- ・ 令和6年度の採択校から取組事例の発表を行い、成果を横展開
- ・ 令和7年度の域内採択校における取組状況の共有
- ・ 大学教員等から先進事例の紹介や指導・助言の機会を設定



「DXハイスクール」及び「探究・STEAM」合同取 組事例発表会（実施要領2.（2）関連）

- ・ 「域内DXハイスクール採択校」及び「探究・STEAM指定校」の生徒対象
- ・ 「DXハイスクール事業」や「探究・STEAM」での取組内容の発表を合同で実施
- ・ 取組事例の発表を通じて、成果を横展開



取組内容①（実施要領2.（1）（6）関連）

「教員研修」の実施

県内の大学や民間企業等と連携し、数理、データサイエンス、A Iに係る研修会を実施する。

- ・A Iの活用した組み込みシステムの構築
- ・R P Aを前提とした情報システム構築に係るプロトタイプやアプリケーション等の作成等

授業
と
課外の
往還教員の
リスキング

学校種を超えた域内のデジタル人材育成

生徒相互の
学び合い

取組内容②（実施要領2.（5）関連）

事業採択校対象「連絡会議」等の実施

○連絡会議

各校の進捗状況の把握や優良事例を相互に紹介、大学教員等による指導及び助言

○専用サイトでの取組内容の紹介

域内外への取組内容の紹介や成果の普及



みやぎDXハイスクール

みやぎDX
ハイスクール

取組内容③（実施要領2.（3）（6）関連）

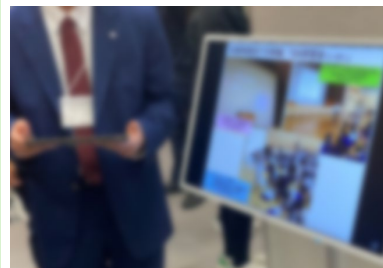
伴走型「デジタル人材育成講座」等の実施



県内の大学や民間企業等と連携し、アントレプレナーシップ教育の視点に立ち、デジタル技術を活用した社会課題の解決に向け、域内の生徒を対象とする伴走型デジタル人材育成講座をハイトップ層及びミドル層にレベルに分けて実施し、生徒の資質・能力の育成を図る。

取組内容④（実施要領2.（2）（4）関連）

「みやぎのこども未来博」の実施



国公立私立問わず県内の小学生、中学生、高校生を対象とした探究活動や課題研究等の成果の発表の場を設け、本事業の成果普及を図り、大学教員等を招聘し、指導

並びに講評をいただき、児童生徒の資質・能力の育成を図る。

秋田県

情報活用能力の育成と学習成果の共有

取組内容②（実施要領2.（2）関連）

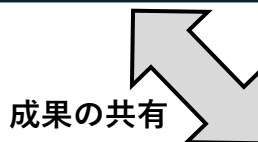
事業充実のための取組事例発表会の実施

- 採択校をはじめ県内全ての高等学校を対象とした、専門人材を交えた取組事例発表会

取組内容③（実施要領2.（3）関連）

生徒の興味・関心を引き出す実践型デジタル人材育成講座の実施

- 県内大学・企業等と連携したデジタル人材育成講座
- 採択校間での交流会・情報交換会



取組内容①（実施要領2.（1）関連）

指導力・専門性向上のための教員研修の実施

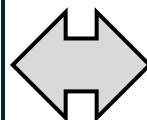
- 県総合教育センターにおける専門研修
 - ・「高等学校情報科における指導の充実」
 - ・「発達の段階に即したプログラミング演習」



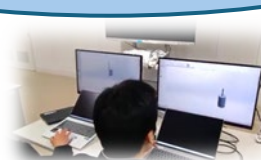
取組内容⑤（実施要領2.（5）関連）

採択校の取組状況把握及び指導助言等の伴走支援

- Google Classroom活用による情報共有
- 進捗状況の把握及び伴走支援



域内のデジタル人材育成



取組内容④（実施要領2.（4）関連）

コンテスト等の取組成果発表会の実施

- 第3回デジタル学園祭「全国情報教育コンテスト」
- 令和7年度第3回秋田県高校生マイクロビットコンテスト
- 令和7年度第2回秋田県高等学校プログラミングテスト

山形県

山形県高校教育DX発展プロジェクト

取組内容①（実施要領2.（1）関連）

教員向け「情報Ⅱ」研修

次世代授業づくり ワークショップ

情報Ⅱ等の開設に向けた、
「情報」担当教員の育成



取組内容②（実施要領2.（2）関連）

DXハイスクール取組事例発表会

山形県高校DXキャラバン

取組事例を横展開することで、
山形県における教育DXの
更なる推進を図る



山形県内の

デジタル人材育成

取組内容③（実施要領2.（3）関連）

生徒向け情報特別講座

Tech Frontier Camp

山形の今後を担うデジタル
人材の発掘・育成

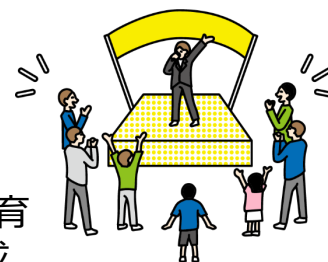


取組内容④（実施要領2.（4）関連）

DXハイスクール校の祭典

Yamagata DX Highschool GP

学校、教員・生徒の情報教育
、教育DXに対する機運醸成



福島県

「学びの変革」を実現するための 総合的なデジタル人材の育成と環境整備

共通教科「情報科」支援プログラム事業 (実施要領2. (1) 関連)

【目的】

1. 「情報Ⅰ」授業支援事業・「情報Ⅱ」開講支援
2. 「プログラミング指導」支援

【内容】

今まで情報科を指導してきた教員についてプログラミングに不安を抱える教員や、今年度から情報科を担当し日々の授業に悩みを抱える教員に向けて、「情報Ⅰ・情報Ⅱの授業づくり」や「プログラミング指導の在り方」「データサイエンス指導の在り方」を中心に配信等を実施する。また、教育センターにおいて実施する基本研修で取り扱った教材も公開する

生成AIを活用したクリエイティビティの養成 (実施要領2. (3) 関連)

【目的】

プロダクト開発により生徒が生成AIの活用法を身につけ、クリエイティブな思考と力を養う

【内容】

- ・映像制作（Adobe）、ゲーム制作（Unity）の2コースから選択できる集合型ワークショップを実施
- ・即席の開発チームを組み、作りながら学ぶことで他の参加者の作品や開発工程から深い学びを得るとともに、情報分野への興味関心を醸成

県内各校への 情報の共有

DXハイスクールの取組事例の
「福島イノベーション・コースト構想の実現に貢献する人材育成」成果発表会での共有
(実施要領2. (2) 関連)

【内容】発表会において、一連の取組に関する報告を取組に参加した者から実施

相互作用

パソコン甲子園（県立会津大学主催
本県教委共催）や全国で実施される
プログラミングコンテスト等への参
加の促進（実施要領2. (4) 関連）

【内容】各学校においてプログラミング等の実習やプロダクト開発に積極的に取り組むとともに、その成果の積極的なコンテスト発表を促す

情報Ⅱ等の 受講者増に 向けた サポート

県内の各DX
ハイスクール
指定校の取組

